年間授業計画　新様式例

高等学校　令和6年度（１学年用）　教科　芸術　　科目　工芸Ⅰ

教　科：　0　　科　目：　工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

使用教科書：　工芸Ⅰ（日文）　　）

教科　0　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】意図に基づいて表現する技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫し、美しさを深く味わう

【学びに向かう力、人間性等】芸術に親しみ心豊かな生活や社会を創造する態度を養う

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて制作方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，工芸の働きなどについて考え，思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり，価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるよう	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，工芸の伝統と文化に親しみ，生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	木製の手に持って使う道具を作る 【知識及び技能】 道具の使い方や木の特性を知り手に馴染む道具を制作する 【思考力、判断力、表現力等】 制作したい形を図面として表現する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 （ア ）　心豊かな発想 身近な美しい事象を表現する （イ ）　制作の構想 透かし彫りのデザインとして図案化 ・教材 エスキス帳	○	○		（ア ）　心豊かな発想 身近な美しい事象を表現できているか （イ ）　制作の構想 透かし彫りのデザインとして図案化が適切に表現できているか	○	○	○	14
	木製の手に持って使う道具を作る 【知識及び技能】 道具の使い方や木の特性を知り手に馴染む道具を制作する 【思考力、判断力、表現力等】 制作したい形を図面として表現する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 （ア ）　素材を活かした表現方法を身に着ける （イ ）　創造したアイデアを具現化させる ・教材 チーク材・電動糸鋸・やすり・彫刻刀など	○	○		（ア ）　素材を活かした表現方法ができているか （イ ）　創造したアイデアを具現化できているか	○	○	○	14
2学期	木製の手に持って使う道具を作る 【知識及び技能】 道具の使い方や木の特性を知り手に馴染む道具を制作する 【思考力、判断力、表現力等】 最終的な形を見つけ仕上げをする 【学びに向かう力、人間性等】 目標とする完成度に近づける	・指導事項 （ア ）　素材を活かした表現方法を身に着ける （イ ）　創造したアイデアを具現化させる ・教材 チーク材・紙やすり・ニスなど	○	○		（ア ）　素材を活かした表現方法ができているか （イ ）　創造したアイデアを具現化できているか	○	○	○	12
	二色の練り込みマグカップ（陶芸） 【知識及び技能】 陶芸粘土の焼成温度や制作過程を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 モザイク模様による図案を制作する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 （ア ）　素材を活かした表現方法を身に着ける （イ ）　創造したアイデアを具現化させる ・教材 陶芸粘土	○	○		（ア ）　素材を活かした表現方法ができているか （イ ）　創造したアイデアを具現化できているか	○	○	○	16
3学期	二色の練り込みマグカップ（陶芸） 【知識及び技能】 陶芸粘土の焼成温度や制作過程を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 モザイク模様による図案を制作する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 （ア ）　素材を活かした表現方法を身に着ける （イ ）　創造したアイデアを具現化させる ・教材 陶芸粘土	○	○		（ア ）　素材を活かした表現方法ができているか （イ ）　創造したアイデアを具現化できているか	○	○	○	10
	（1 ）　鑑賞 工芸の伝統と文化を学び，生活や社会を心豊かにするために日本の伝統工芸品を地域ごとに学ぶ	ア　工芸作品などに関する鑑賞 素材別に工芸品を学ぶ イ　工芸の働きや工芸の伝統と文化に関する鑑賞			○	ア　工芸作品などに関する鑑賞 素材別に工芸品を司会できたか イ　工芸の働きや工芸の伝統と文化に関する事柄に興味を持てたか	○		○	4
										合計 70